1992年4月17日第三種郵便物認可（毎月3回7の日発行）
2011年7月14日発行　SSKR6298　増刊通巻

SSKR CIL東大和通信 第22号

編　集　NPO法人　自立生活センター・東大和
〒207−0014　東京都東大和市南街1-22-6　シティコート南街1F
TEL　：　042−567−2622　FAX　：　042−567−2912
EMAIL　：　cil-ymt@violin.ocn.ne.jp
発行所　東京都世田谷区砧6−26−21
障害者団体定期刊行物協会　定価100円

CIL東大和10周年

このまま、
20周年、50周年、100…、200ってもういいか（汗）

1．CIL東大和総会 …… p2.3.4
2．CIL東大和１０周年実行委員会…… p5
3．新職員紹介…… p5
4．お花見…… p6
5．ネットワーク総会＆学習会…… p7.8
6．みんなの作品展…… p8
7．震災と海外支援。東日本大震災義捐金&さくらプロジェクト…… p9.10
8．自立支援協議会…… p11
9．車椅子体験学習…… p12
10．ＮＰＯの移送サービスでも東大和市タクシー券が使えるようになりました！…… p13

1．ＣＩＬ東大和総会報告

2011年6月28日自立生活センター東大和総会が向原市民センターにて行われました。
会員数57名中、出席者15名、委任状36名で会員の過半数に達しているため総会が成立しました。
議長が選任された後、2010年度の事業報告及び決算報告、監査報告、今年度の事業計画、予算案の順で審議されました

2010年度の事業報告について。

◆ 自立生活プログラムは、つながりをテーマに、市内中学校での車いす体験学習への参加、みんなの作品展への出品、CIL昭島と合同で大運動会を行いました。大運動会は参加者がどれだけ集まるのか不安がありましたが、当日は総勢60名を超える参加者があり大いに盛り上がったイベントとなりました。
◆ 移送サービスについては、ハイエースの老朽化に伴い、日本財団に車両を申請、日産キャラバンの助成を受けることができました。福祉有償運運送は更新の年度であったので、運営協議会に申請を行い許可を得ることができました。
◆ 点字翻訳事業
名刺への点字打ち込み作業と関係団体の会報の点字翻訳を行いました。
点字名刺作成　28件、会報点訳　3件

その他、各担当者から障害福祉ネットワーク、NPO福祉東大和連絡会、ベンチレータネットワーク呼ネットからの報告、監査報告、決算報告と続きました。
そして、2011年度の事業計画、予算案、人事総務からは新スタッフの紹介があり、全ての議事について承認を頂きました。

質疑応答では、移送サービスの保険や契約についての質問や、イベントだけでなく市民向けの啓発講座の開催も必要ではないかとの意見も頂きました。他に、名簿の管理方法や緊急連絡カードへの意見もありました。

これからも会員の皆さんのご意見をお聞きしながら、東大和市が誰にとっても暮らしやすい地域になるように頑張って行きたいと思います。

資料：会計収支報告書

書式第１２号（法第２８条関係）

22年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

22年4月1日から23年3月31日まで

特定非営利活動法人　自立生活センター・東大和

（単位：円）

科目	金額		
（経常収支の部）			
Ⅰ　経常収入の部			
1 会費・入会金収入			
入会金収入			
会費収入		224,500	
2 事業収入			
障害者地域生活支援に関する事業			
(1)自立生活プログラム活動収入		314,523	
移送サービス事業			
(2) リフト運行協力金収入		2,347,610	
その他の事業収入		5,505,600	
3 補助金等収入			
東京都地域福祉振興事業助成金収入	2,917,000		
東大和市地域福祉推進事業	640,000		
その他の助成金収入	2,090,000		
4 寄付金収入			
寄付金収入	553,042		
その他収入			
5 受け取り利息収入	624		
雑収入	201,000		
その他の事業会計からの繰り入れ			
経常収入合計			14,793,899
Ⅱ　経常支出の部			
1　事業費			
障害者地域生活支援に関する事業			
（1）自立生活プログラム活動支出		4,815,854	
移送サービス事業			
（2）移送サービス事業費		3,378,623	
その他の事業費		3,335,801	
2 管理費			
福利厚生費	12,720		
水道光熱費	114,381		
事務用品費	309,493		
消耗品費	19,634		
印刷費	84,510		
修繕費	34,860		
地代家賃	1,221,000		
保険料	8,190		
租税公課	2,700		
諸会費	350,800		
支払い手数料	107,220		
雑費	161,891		13,957,677
経常支出合計			13,957,677
経常収支差額			836,222
Ⅲ　その他資金収入の部			
1　固定資産売却収入	0		0

その他の資金収入合計			0
Ⅳ　その他資金支出の部			
1　当期収支差額			836,222
前期繰越収支差額			2,861,158
次期繰越収支差額			3,697,380
（正味当期収支差額（再掲）			
Ⅴ　正味財産増加の部			
1　資産増加額	836,222		
増加額合計			836,222
2　負債減少額	0		
当期収支差額（再掲）（マイナスの場合）			
Ⅵ　正味財産減少の部			
1　資産減少額			0
2　負債増加額			
減少額合計			
当期正味財産増加額（又は減少額）			836,222
前期繰越正味財産額			2,861,158
当期正味財産合計			3,697,380

監事　野口 俊

1992年4月17日第三種郵便物認可（毎月3回7の日発行）
2011年7月14日発行　SSKR6298 増刊通巻

2. 10周年企画進行中 2011

10周年記念誌掲載用↓

寄せ書き

好評受付中！

会員さんは、送った葉書に書いて返信してね！
アテンダントさんは、事務所に寄ったら書いてね！

10才なんだ

Born in 2001

みなさま、ありがとう！

3. 新職員紹介

初めまして☆このたび東大和でお世話になります、高橋亘です。
担当は、事務全般・介助・その他です。

●好きな色：白　●好きな数字：３　●好きな花：スパティフィラム　●好きな木：けやき　●好きな場所：赤レンガ倉庫、寒風山　●好きな時間：20時～21時　●好きな作家：有島武夫、サリンジャー　●好きな画家：いわさきちひろ、速見御舟　●好きな音楽：憂鬱な曲　●マイブーム：刑事コロンボ、目玉焼き　●マイアイドル：ジェームス・ディーン&リリアン・ギッシュ... といった僕です。

現在は歩いても歩いても歩いても出発点の毎日... ですが、おうし座っ！A型っ！のセンスで仲間のために頑張ります。

1992年4月17日第三種郵便物認可（毎月3回7の日発行）
2011年7月14日発行　　SSKR6298　増刊通巻

4. お花見

去る４月２日（土）、今年も、東大和南公園でのお花見を開催しました♪
先日の震災の影響で、中止にしたほうがいいのではという雰囲気にもなっていましたが、電気や物資の問題も落ち着いたことだし、こんなときだからこそ皆で集まってわいわいやって心に潤いを…ということで今年も開催しました。

今年は桜の開花が遅かったので、あまり咲いていなかったのですが、おてんとうさんはぴかぴか晴天♪そして初夏のようなぽかぽか陽気♪絶好のお花見日和でした！日差しが強かったため、皆さんお顔がまっかっかになりました ^////^

みんなの笑顔の花*

差し入れしてくださったかた、準備・片付けのお手伝いをしてくださったかた、
被災地への救援募金にご協力くださったかた、
どうもありがとうございました ☺

1992年4月17日第三種郵便物認可（毎月3回7の日発行）
2011年7月14日発行　　SSKR6298　増刊通巻

2011年6月24日(金)10：00~12：00　中央公民館　視聴覚室にて、東大和障害福祉ネットワークの総会と学習会を行いました。

第一部・ネットワーク総会

総会は、活動報告、役員改選、決算報告、次年度方針、予算案に賛同いただきまして、終了いたしました。設立から6年目を迎えた東大和障害福祉ネットワークですが、政府の障害者施策の動向をきっちりと踏まえて、今年度も東大和市の福祉の向上のため、活動していきたいと思います。

第二部・学習会「東大和市の震災対策を考える」

東大和市の防災安全課と福祉推進課（災害時要援護者対策担当）の方を講師に迎え、東大和市の災害対策の現状と、被災地に支援に行った際の報告もしていただきました。

第一に、防災安全課に「家庭でできる防災対策」を話していただき、その後、福祉推進課より、東大和市災害時要援護者避難支援プランをつくる上で、①自治会等の活動が活発な地区をモデル地区にする、②個別支援計画を作り、細やかな対応がしやすいようにする、③個別支援計画に必要な個人情報を集める際には、適切に扱う、といった説明がされました。さらに、被災地支援を行った際に職員が感じた避難所でのルールづくりやコミュニティの再構築の必要性についてお話いただき、質疑応答に移りました。

○質疑応答の時間○

以下のような意見が出されました。

・障害のある人の家族や、障害福祉団体の職員の方から。3月に行われていた計画停電の際には、多くの人がいつもとは違う環境の下で過ごさなければならず、中でも障害があることによって、不安や緊張で、なかなか落ち着かない人が多かった。
・防災計画をたてる際には、障害のある人の個別性があることを念頭にいれてほしい。
・東日本大震災でも明らかになったが、震災時は道路が損壊したり、緊急通行のため使用不可能になることが考えられる。そのため、避難所にたどり着くまでが著しく困難で、家や通所先に留まらざるを得ない人達も出てくる。そのような場合に、避難所にいるのと同様な支援を受けられるようにして欲しい。

東大和市災害時要援護者避難支援プランが立てられ始めたばかりなので、今回の質疑は市民の意見を聞き、できるだけ多くの実情を知ることがという目的でしたが、時間が足りず残念でした。終了になりました。

災害に備えることは、個人での取り組みももちろん大切ですが、それには限界があります。市が避難指示や、避難所運営、食料、水、エネルギーの備蓄等の総合的な計画を立て、実際にその通りに動けるように体制を整えていくことが重要です。そのために私たち市民は、今後、東大和市の防災対策について注視し、積極的に意見を表明していくことが必要でなのではないでしょうか。

6. みんなの作品展
～防災グッズを作ろう～

今年も**「みんなの作品展」**に参加します！

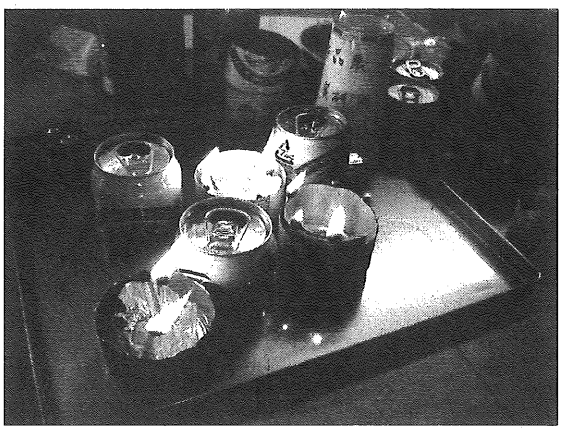
◆「みんなの作品展」とは、
- **市内の高齢者・障害児者施設、共同作業所、団体、グループなどの皆様とボランティア活動に携わる仲間が、日頃の活動の中で製作した作品の展示発表の場です。**
- **〔東大和市ボランティア会〕が主催し、毎年9月か10月に展示会、今年でなんと22回目！を迎えます。**
- **自立生活センター・東大和が参加して3回目。去年発表の『見て、触れて、感じる東大和市立体マップ』は大好評でした。**

今回の企画は、日頃から、防災のことについて知り、心の準備をすることが大事なんじゃないかな？？ということで、非常時にまず必要な「明かり」や「温熱道具」を身近なもので作ってしまおう！というのが内容です。避難所で履ける「防災靴下」も編み物で作ります。また、まだ予定ですが、震災が起きたときに障害のある人がどこに避難したらよいか、避難所にはどんな機能が必要なのかを防災マップをもとに考えてみたいと思います。

『備えあれば憂い無し』へ

温熱道具、防災靴下、作成風景

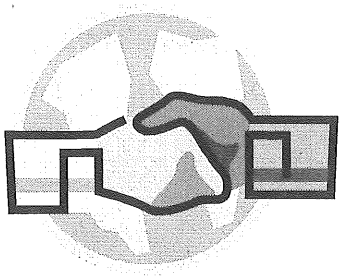
点灯！！



1992年4月17日第三種郵便物認可（毎月3回7の日発行）
2011年7月14日発行　　SSKR6298　増刊通巻

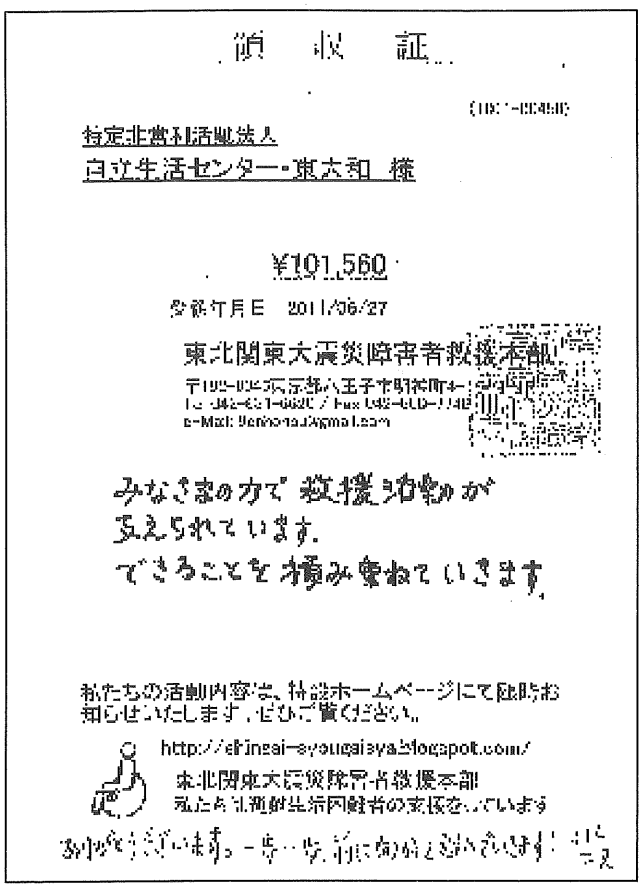
7．震災と海外支援

①東日本大震災の被災支援の募金活動をしました。



3／25、26（金、土)午後
場所：西武新宿駅周辺
募金額：49,000円(金)、30,588円(土)

4／2(土)
場所：東大和南公園　自立生活センター東大和の行事（お花見にて）
募金額：22,002円



領収証

特定非営利活動法人
自立生活センター・東大和　様

¥101,560

受領年月日　2011/06/27

東北関東大震災障害者救援本部

みなさまの力で救援活動が
支えられています。
できることを積み重ねていきます。

私たちの活動内容は、特設ホームページにて随時お
知らせいたします。ぜひご覧ください。

http://shinsai-syougaisya.blogspot.com/

東北関東大震災障害者救援本部
私たち自立生活障害者の支援をしています

頂いた募金は全額、東北関東大震災障害者救援本部に全額振り込みました。

義援金の募金は様々なところで行っていますが、今回の募金は被災した障害者の方の支援のために充てられます。

通常の生活のときと同様に、とりわけ障害のある人には特別なニーズがあります。そのため、非常時の集団生活に入っていくことができなかったり、学校施設のバリアフリー化が不十分なために避難できない人たちも多くいます。

そういった人たちへの安否確認、必要物資の運送や介助派遣にこの義援金が使われます。

継続的な支援が必要になります。ご協力いただける方は下記まで。

口座名：東北関東大震災障害者救援プロジェクト
郵便振替：００１４０－７－４２９７７１
銀行振込：ゆうちょ銀行　〇一九（ｾﾞﾛｲﾁｷｭｳ）店　　当座　０４２９７７１

詳しい情報はコチラ　ＨＰ：http://shinsai-syougaisya.blogspot.com/
ＴＥＬ：042-631-6620　ＦＡＸ：042-660-7746

3月11日に起きた東日本大震災の際にセンターの利用者、介助者、近所の人は何をしていたか、このような質問形式で聞いてみました。ご協力ありがとうございます。

震災インタビュー東京都東大和版「3月11日何をしていましたか　○○さんの場合」
1．2時40分過ぎ、あなたはどこにいましたか。
2．東京でも震度5強を記録した大きなものでした。どんな風に思いましたか。
3．3月11日以前になにか災害への備えをしていましたか。
4．地震を経験して、なにか変わったことはありますか。

近隣の民間会社のKさん
1．仕事場(事務所)。2．自然に対する脅威。3．していました。4．このような大きな地震に遭ったことがなかったので、まず地球は大丈夫だろうか？日本国は...　？と思いながらも自身の生活の仕方を考えざるを得ない。

介助者Mさん
1．歯科医院2．初めての経験3．いいえ4．？

介助者Yさん
1．立川の幹福祉会本部で介助をしていました。2．映画の様で現実感がありませんでした。3．していません。4、政治、世の中の動きに真剣に目を向ける様になり、人と人のつながりの大切さを知る事ができた。

利用者Tさん
1．自宅　2．横揺れで気持ち悪かった。3．していない　4．とくになし

介助者Sさん
1．自宅アパートで昼寝中だった。　2．23区内で大地震が起これば、想像を超える被害が出ると思うので、とても恐ろしいと感じました3．高いところに重いものや硬いものを置かないようにしていました。4．水道水からの内部被爆を避けるために、関西のミネラルウォーターを買って飲むようになりました。

利用者Nさん
1．2時40分過ぎには家にいてベッドで寝てました。　2．結構、地震が長く部屋から外が見れたので電線と電柱の揺れが凄くて、電柱が家に倒れてこないことを祈ってました。3．懐中電灯とラジオぐらいしか備えてないです。　4．東京も震度6以上の地震がいつ起きてもおかしくないので防災グッズを、備えて置かないといけないと思いました。障害者用の防災グッズもあるなら用意しないといけないと感じた。

さくら車いすプロジェクトに協力しました。

さくら車いすプロジェクトとは、パキスタンに中古の車いすを送り、**現地に障がい当事者によって、整備場をつくり、日本から修理等、様々な技術の提供を行い、自立支援を行います。**自立生活センター東大和からは、会員や関係者から電動車いすを譲り受け、電動車いすを3台寄付しました。

＜くわしくはコチラまで＞　全国自立生活センター協議会（ＪＩＬ）
http://www.j-il.jp/temporary/wantad.html　TEL:0426-60-7747　FAX：0426-60-7746

1992年4月17日第三種郵便物認可（毎月3回7の日発行）
2011年7月14日発行　　SSKR6298　増刊通巻

8・東大和市地域自立支援協議会

2009年の3月に設立された東大和市地域自立支援協議会。
昨年度いっぱい、自立支援協議会は東大和市で一体何をやっていったらいいのか、という議論を重ねてきました。その中で挙ってきた最も大きな課題は、身体と知的対象の相談支援の場がない、というもの。とはいえ、東大和市の経済はかなり逼迫しており、新たな相談支援事業を委託することは不可能な状態！？でも、相談窓口がなければ、障害を持つ市民の方々、その支援者が、どんなことに困っているのか把握することは難しいです。

どうしよー…どうするー…？

いろいろ考えた結果、とりあえず、市が設置するのを待つのではなく、自立支援協議会として窓口を置けないか、という方向で話は進みました。
自分たちで相談窓口をやってみないと、実際どれくらいのニーズがあるのかよく分からない。また、今後ちゃんとした相談支援事業を行っていこうとした場合、窓口で待っているだけではなくアウトリーチの方法はどうするのか、受けた相談を誰がどのように責任もって検討していくのか、記録はどのように管理していけばいいか、などなど、運営方法も見当がつきません。だったら、まずは自分たちでやってみようというわけです。
相談窓口の場所や連絡先については、東大和市社会福祉協議会が全面的に協力してくれることになりそうです。ありがたい☆

また、相談ケースの検討も含め、市内全体での様々な課題を検討していくための「専門部会」設置についても、話が進み、まずは「生活部会」と「就労部会」を作ることに。それぞれの部会には、自立支援協議会の委員も全員所属しますが、それ以外に、市内各団体や事業所の現場にいる方々にも加わっていただき、もっと現場に近い議論をしていきたいと思っています。

さらに、東京都多摩地区26市の中で唯一「就労支援センター」を持っていなかった東大和市ですが、 今年の夏にやっとそちらも動き出します。曜日や時間帯など、開所時間の条件などはまだまだ十分とは言えませんが、何もなかった東大和市にそのような機関が少しでもできる、ということは、本当に大きな一歩であり、それをどう発展させるかは市民一人一人の関心の持ち方、提言の仕方にもかかってくるのではないでしょうか。

東大和市は、今年、市長も障害福祉課長も変わりましたが、どちらの方も障害福祉に関しては意識の高い方だと思っています。そして、各委員新任期を迎えた自立支援協議会、私が引き続き会長にならせていただくことになりましたが、委員の皆さんの方が現場経験は圧倒的に長い訳で（私は協議会の中で最年少かと思っていましたが、つい先日下から2番目だということが発覚しました！）、会長とはいえ、皆様に支えられての2年間になります。専門部会ができたことで部会長も設置されました。今後も、事務局、部会長、委員の方々と協力しながら、いい協議会にしていきたいと思います。

この自立支援協議会は、なるべく市民にも開かれた会にしていきたいと思っています。たくさんの方々に傍聴に来ていただき、ご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いします。

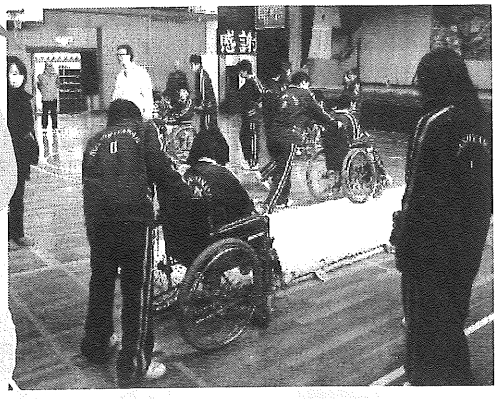
海老原

1992年4月17日第三種郵便物認可（毎月3回7の日発行）
2011年7月14日発行　　SSKR6298　増刊通巻

9. 車椅子体験学習

2月10日（木）、17日（木）、3月10日（木）に東大和市立第二中学校にて、車椅子体験学習ボランティアを行いました。今回は東大和市ボランティア会の皆さんと自立生活センター・東大和スタッフ及び会員の方と協力して行いました。体験学習は二年生対象で肢体不自由、視覚、聴覚の三つの身体障害について学びます。自立生活センター・東大和は、肢体不自由のグループ担当でした。

最初に体育館で、車椅子ユーザーから普段の生活の様子と、自分が乗っている車椅子についてお話させていただきました。



その後は、生徒さんたちがボランティア会の方の指示の元、3人一組になり、一人が手動車椅子に乗り、一人がその車椅子を押し、もう一人がサポートというかたちで実習を行いました。体操用のマットを敷き、そこを車椅子の方輪だけ乗せて進んでみたり、床にロープを置いてでこぼこを作りその上を通ってみたり、スロープを上り下りするところを体験してもらい、見た目と実際に体験したときとの違いを感じてもらえたのではないかと思います。

昔に比べれば公共交通機関もある程度整備され、街中で車椅子ユーザーに出会う機会はめずらしくなくなってきています。でも、知り合いに障害を持つ人が居たり、自分が怪我や病気などをして歩けなくなる経験などが無ければ、普段車椅子に触れる機会は少ないかもしれませんし、どんな生活をしているか考えることも少ないと思います。

もちろん、「車椅子ユーザー」というだけでその生活を一括りにはできませんが、物理的なバリアについて発見していただくだけではなく、こんな風に生活をしている人もいるんだなぁ・・・と知るきっかけにしてもらえたなら幸いです。そして、その生活が特別なものではなく、ごく自然なありきたりのものとして受け入れられていく時代にしていきたいと、あらためて思いました。（小林）

10. NPOの移送サービスでも 東大和市タクシー券が 使えるようになりました！

長年、みなさんからの強い要望が寄せられていましたが、NPO 福祉東大和連絡会の活動の結果、今年の4月からCIL東大和の移送サービスでもタクシー券が使えるようになりました。
（市内の全てのNPOではないので、タクシー券裏面の事業者欄で確認してください。）

障害の状況によっては、タクシー利用が困難だったり、車いす、特に電動車いすはリフト付きでないと乗れません。タクシーは予約は必要ありませんが、私たちの福祉有償運送は会員制で事前予約が必要です。それぞれのメリット、デメリットはありますが、利用される人のニーズに合わせ、選択肢の幅が拡がった事が大きな前進です。

また、日本財団から助成していただいた、日産キャラバンが移送サービスの仲間に加わり活動を開始しています！

乗車定員はハイエースよりも1人増えて10人乗りになって、今まで以上に、ご家族や友達とのドライブや旅行に大活躍してくれそうです。

これからも安全運転に努めてまいりますので、皆さんの足代わりとして新スタッフ（笑）キャラバンを可愛がってくださいね。

編集後記

皆さんこんにちはKKです。21号が出たのが２月のことでした。あれから半年近くたったわけですけども、まさに激動の数ヶ月。東日本大震災によって、未曾有の被害がもたらされました。関東地方も地盤沈下や液状化現象などに悩まされました。中でも、吸引機や人工呼吸器等の医療機器ユーザーの自分としては、計画停電が非常に大変でした。でも、事務所にプチ避難し、皆さんでキャンドルないつ！！倒れない範囲で節電をし、募金をし、出来ることをやっていきたいですね。

PS.しつこいようですが、自立生活センター・東大和は今年、10周年で～す。

＜会費納入のお願い＞

NPO法人　自立生活センター･東大和は皆様の会費が運営資金となっております。
今後も障害を持っていても自分らしい地域生活を送るために必要な様々なサポートを
提供していくためにご協力をお願い致します。

正会員
→利用会員：3000円／年
→協力会員：1000円／年
賛助会員：1000円／1口
団体会員：10000円／1口

ご寄付のご協力もお願い致しております。
郵便局：00100-9-46826
特定非営利活動法人　自立生活センター・東大和

＜受付時間＞
平日 9:00～18:00
＊緊急連絡はいつでもつながります＊

〒207－0014
東京都東大和市南街１－22－6 シティコート南街１F
TEL：042－567-2622
FAX：042－567-2912